

4月1日よりバリアフリーに対応した新しい展示室がオープンします！

## 「旧横浜英国総領事館」新展示室 OPEN

横浜開港資料館は、令和3年度から実施してきた整備工事の完了を受け、令和8年4月1日(水)より「旧横浜英国総領事館」(横浜開港資料館旧館)の新展示室を公開します。今回の整備工事により新展示室も含めて、旧館へのバリアフリー対応が完了しました。



### 新展示室公開概要

公開日 令和8年4月1日(水) 開館時より  
開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)  
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、  
年末年始、ほか  
入館料 一般500円  
小・中学生/横浜市内在住65歳以上250円  
※上記は、特別公開「横浜の記憶—多彩な収蔵資料—」会期中〔4月1日(水)~7月20日(月祝)〕の入館料です。  
※特別公開を開催していない期間は、一般200円、小・中学生/横浜市内在住65歳以上100円となります。

### イギリス総領事館と新展示室について

明治2(1869)年にイギリス領事館が建設されてから、昭和47(1972)年に領事館が廃止されるまで、この地は100年以上にわたって、イギリスと深い関係を有してきました。

現在の建物は、関東大震災で倒壊した領事館に代わって、イギリス工務省の設計により、昭和6(1931)年に鉄筋コンクリート造で再建されたものです。建築様式は、18世紀から19世紀半ばにかけて本国で流行したジョージアン様式でまとめられ、建物以外にも、周囲の門柱や門扉および塀に当時の意匠が残されています。

今回の整備工事では、建物に残された古い痕跡を調査する過程で、創建当時の建具(扉や窓枠)や内装の色が判明し、外観・内装ともにかつての色に復元しました。

総領事の執務室だった1階記念室では、横浜のイギリス領事館の歴史について、そして幕末の外交官アーネスト・サトウについて紹介しています。また領事館職員とその家族の生活空間であった2階では、山下町や横浜中華街、元町、山手など、観光地として親しまれている旧外国人居留地を中心としたエリアの歴史を紹介しています。



写真右：新館2階から新設したバリアフリーの連絡通路を  
通って新展示室に入ることができます。

写真左：旧英国総領事館時代の内装色を復元した新展示  
室前の廊下。

次ページあります



写真右：これまで見学が難しかった車いす利用者への対応として、旧館1階へは昇降機を設置しました。  
 写真中：扉や窓枠など、建具は旧英国総領事館時代の塗装色を復元し、緑色となりました。  
 写真左：ミュージアムショップ&カフェ PORTER'S LODGE も整備工事の中で令和5年にリニューアルしたものです。

## 旧横浜英国総領事館について

横浜市指定文化財（建造物）

- ・横浜開港資料館旧館(旧横浜英国総領事館)及び旧門番所
- ・附 設計図 36 枚、改修図面 51 枚
- ・時代 昭和 6 (1931) 年
- ・構造及び形式  
 旧館 鉄筋コンクリート造 3 階、地下 1 階、寄棟造、銅板瓦棒葺、外壁人造石洗出し目地仕上げ  
 旧門番所 鉄筋コンクリート造 1 階建、寄棟造、銅板瓦棒葺、外壁人造石洗出し目地仕上げ
- ・所在地 横浜市中区日本大通 3 番地
- ・指定年月日 平成 12 年 11 月 6 日



近代建築としても人気の高い旧館（旧英国総領事館）と中庭に植わる横浜開港のシンボル玉楠の木

## 文化庁認定「横浜開港資料館における文化観光拠点計画」

「横浜開港資料館における文化観光拠点計画」は、文化の振興を、観光の振興と地域の活性化につなげ、これによる経済効果が文化の振興に再投資される好循環を創出することを目的として、令和2年に施行されたいわゆる「文化観光推進法」※に基づき、文化についての理解を深める機会の拡大と国内外からの観光客の来訪を促進させ、文化・観光の振興、地域の活性化の好循環を全国各地で創出するため、文化庁が認定している計画です。

**横浜開港資料館は「横浜開港」の歴史を中心に文化振興を観光と地域活性化に結び付ける拠点となることを、共同申請者である山下公園通り・元町・横浜中華街の各団体とともに目指しています。**

※「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」  
 ※文化観光推進法に基づき認定した拠点計画及び地域計画  
 文化庁ウェブサイト：[https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka\\_gyosei/bunkakanko/92441401.html](https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/bunkakanko/92441401.html)



お問合せ先  
 横浜開港資料館 副館長：青木祐介 拠点計画推進担当：羽毛田智幸 広報：加藤七海  
 TEL045-201-2100